

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画

但東地域施設一体型小中一貫校 地域説明会

豊岡市教育委員会 教育施設課 再編推進係

次第

- 1 これまでの経過
- 2 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の考え方
- 3 但東地域における施設一体型小中一貫校の整備について
- 4 義務教育学校について
- 5 豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画
- 6 今後の進め方について
- 7 意見交換

1 これまでの経過

最近の但東での動き

年度	内容
2024 (令和6)	7/3 但東地域学校再編にかかる説明会（地域住民対象） 2/15 資母小学校PTA 学校再編にかかる説明会 2/15 合橋小学校PTA 学校再編にかかる説明会
2025 (令和7)	5/10 資母認定こども園 学校再編にかかる説明会 9/4 資母まちづくり協議会・PTA役員 意見交換会 9/19 資母地区保護者と竹野地域保護者との意見交換会
2026 (令和8)	3/5 合橋小学校 学校運営協議会での説明 ・学校再編にかかる進捗状況等について 4/30 「資母小学校の統合・再編及び資母認定こども園の統合に関する地域意見書」を受理 5/22 合橋小学校 学校運営協議会での説明 ・資母地区から出された地域意見書について ・今後のスケジュール等について 6/26 但東地域施設一体型小中一貫校説明会（地域住民対象）

2 豊岡市立小中学校適正規模・ 適正配置計画の考え方

学校の小規模化が進むことによる課題

■ 小規模校には小規模校の良さがあります

メリット

- ◎ 児童・生徒の一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。
- ◎ 学校行事や部活動等で、児童・生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい。
- ◎ 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。
- ◎ 異学年間の縦の交流が生まれやすい。
- ◎ 保護者や地域社会との連携が図りやすい。

6

学校の小規模化が進むことによる課題

■ その一方で課題もあります

デメリット

- ▲ 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。
- ▲ 人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。
- ▲ 運動会や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。
- ▲ 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
- ▲ P T A活動等、保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

7

適正配置の考え方

通学時間と、旧市町ごとの**歴史的・社会的背景**を考慮した学校配置とする。

- ① 通学時間は、概ね1時間以内とする。
※遠距離の場合は、交通手段の確保が前提。
- ② 小学校の再編は、原則、同一中学校区内とする。
- ③ 中学校の再編は、原則、旧市町域内とする。

原則、旧市町域内に小学校・中学校とも1校は存続

8

学校再編の基本方針

- 学校統合
- 施設一体型小中一貫校として再編
(要件が満たされる場合)

竹野地域
但東地域

学校再編の優先順位	
1 最優先	● 既に複式学級が生じている小学校
2 優先	● 将来的に複式学級が生じると見込まれる小学校 ● 小規模化により課題が生じる中学校
3 将来的な検討	● 最低限確保したい学校規模（1学年20人程度）を目指し、将来的な学校のあり方について地域と検討

9

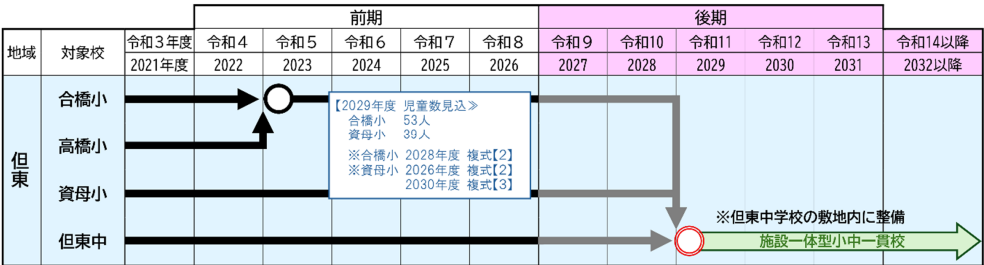
学校再編にあたって配慮すべき事項への対応

- 1 児童生徒への配慮
学校再編によって、児童生徒の環境が大きく変化することへの対応など
- 2 通学への配慮
通学路の安全確保、通学バスの運行方法の検討、バス通学練習の検討など
- 3 放課後児童クラブ利用者への配慮
子どもたちの安全性の確保の観点から、小学校施設内又は隣接地で設置
- 4 地域の拠点機能としての配慮（学校跡地の有効活用）
地区との利活用協議、地区との契約による暫定利用など

10

3 但東地域における施設一体型小中一貫校の整備について

但東地域の再編の枠組 ※2026年3月【後期計画 時点修正】



12

参考 今後の児童数見込み

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
資母小学校	令和8(2026)年度	6	7	7	7	6	9	42
	令和9(2027)年度	5	6	7	7	7	6	38
	令和10(2028)年度	7	5	6	7	7	7	39
合橋小学校	令和8(2026)年度	8	12	6	8	15	5	54
	令和9(2027)年度	4	8	12	6	8	15	53
	令和10(2028)年度	13	4	8	12	6	8	51

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
統合後	令和11(2029)年度	18	20	9	14	19	13	93
	令和12(2030)年度	4	18	20	9	14	19	84

※ 令和9年度以降は、現在の住民基本台帳及び就学人数をスライドしている。

13

参考 複式学級の基準

【兵庫県の学級編成基準】

- **2つの学年の合計が14人以下**（1年生を含む場合は8人以下）の場合、その2つの学年が1学級に編成される。

（国の基準は16人）

ただし、専科の先生※を学級担任として充てることで、複式学級の解消が可能な場合があります。

※ 小学校には、学級担任をしない先生が学校の規模に応じて配置されており、音楽や家庭科、理科等を担当しています。

14

4 義務教育学校について

「義務教育学校」と「一般的な小・中学校」の違い

	義務教育学校	一般的な小・中学校
修業年限	9年 （前期課程6年・後期課程3年）	小学校6年・中学校3年
組織・運営	1人の校長 1つの教職員組織	学校ごとに校長、教職員組織
免許	小学校・中学校の両免許状を併有 ※ 当面の間は、小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程及び前期課程（所有免許状の教科に相当する教科）の指導が可能。	所属する学校の免許状を保有
教育課程	● 9年間の教育目標の設定 ● 9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成	● 小・中学校ごとの教育目標の設定 ● 小・中学校それぞれの教育課程の編成
独自教科の設定	○	×
乗入れ授業	◎	×

16

義務教育学校で実現できる魅力ある教育 ～先進事例より～

9年間の連続性を 生かした 小中一貫教育

- ① 中1ギャップの解消
- ② 9年間を通じた指導・見守り
- ③ 専科指導による学力向上
- ④ その地域ならではの特色のある教育

広い年齢間交流による 豊かな心の醸成

- ① 上級生への憧れ
- ② 下級生へのいたわり、手本を示す心構え
- ③ 地域の方への感謝
- ④ 多様な考え方があることの学び

教職員組織の一体化 によるメリット

- ① 教職員の相互理解・相互協力
- ② 組織一丸となった学校行事対応
- ③ 前期課程・後期課程の教員の指導力向上

17

参考 義務教育学校「竹野学園」

2025年4月開校

- 竹野学園の最大の特徴は「**一緒に過ごす**」こと

- ① 小学生と中学生が
- ② 小中学校の教職員が
- ③ 学校と地域が

一緒に過ごす = 直接 見る・感じる

➡ **情報をリアルタイムに共有できる**

- 特色あるカリキュラム「**たけの未来づくり科**」

- ・ 「ふるさと」とつながる自然、文化、歴史、産業、ひと等を教材として
- ・ 各教科で学習したことを活用して

「探究的な学習」で竹野の活性化の担い手を育てる

課題設定 → 情報収集 → 整理・分析 → まとめ・発表



▲義務教育学校「竹野学園」

18

参考 義務教育学校「竹野学園」



▲子どもたちが主体となつての準備の様子



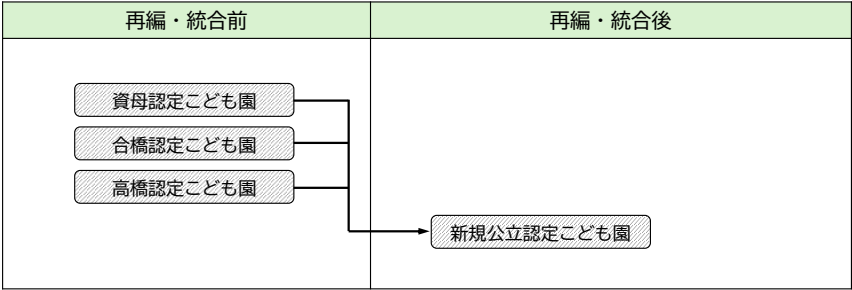
▲昨年10月に行われた運動会の様子

19

5 豊岡市における幼児教育・保育 及び放課後児童のあり方計画

就学前施設の再編・統合計画

■但東地域再編・統合案



資母認定こども園・合橋認定こども園・高橋認定こども園を統合し、新規の公立認定こども園に移行する。

6 今後の進め方について

今後のスケジュール（協議等）

年度	内容	備考
2026 (令和 8)	但東地域施設一体型小中一貫校 説明会	6 月26日 但東市民センター 市民ホール
	開設準備委員会設置・協議開始	7 月下旬～8 月下旬
2027 (令和 9)	開設準備委員会協議	
2028 (令和10)	統合準備（引越し等） 小学校・認定こども園・中学校 閉校式	2029年 1 月～3 月 3 月下旬
2029 (令和11)	小中一貫校開校	4 月

今後のスケジュール（工事等）

令和 8 (2026)年度	令和 9 (2027)年度	令和10(2028)年度	令和11(2029)年度
4-6月 7-9月 10-12月 1-3月	4-6月 7-9月 10-12月 1-3月	4-6月 7-9月 10-12月 1-3月	4-6月 7-9月 10-12月 1-3月
実施設計	小学校・中学校 施設整備工事		小中一貫校 開校
	認定こども園 実施設計・施設整備工事		認定こども園 開園

※ 国の補助金、市の予算措置が順調に進んだ場合のスケジュール例。
※ 認定こども園の整備は、市の予算措置の状況により遅れる場合もある。

事務局からの説明は以上となります。

7 意見交換

最後にアンケートのお願い

- アンケートにご協力をお願いします。
- こちらのQRコードを読み取ることでスマートフォンなどから回答することができます。
- いただいたご意見は、今後、協議などの際に参考資料とさせていただきます。
- 記入した方が分からないように十分配慮します。
- 7月3日（金）までにご回答ください。



問合せ先

豊岡市教育委員会 教育施設課 再編推進係

〒668-8666

豊岡市中央町2番4号

☎ 0796-29-0040（課直通）

✉ kyouikushisetsu@city.toyooka.lg.jp